



北海道情報大学同窓会

蒼天会 会報

Vol. 16



発行:平成30年12月1日
北海道情報大学同窓会

平成30年度 北海道情報大学同窓会 総会及び懇親会開催報告

北海道情報大学 同窓会副会長

大越 弘光



平素は北海道情報大学同窓会活動に多大なるご理解・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。そして、我が同窓生の皆様におきましては各業界でご活躍のことと御喜び申し上げます。

さて、平成30年8月11日(土)、本学内において、「平成30年度北海道情報大学同窓会総会及び懇親会」を開催し、多くの皆様にご参加いただくことができました。総会ではご参加いただいた皆様の真摯な討議により、議事につきましてはすべて満場一致で承認されたことをご報告申し上げます。

まず総会についてですが、会長の木村の挨拶で始まり、大学の近況について澤井学長からお話をいただきました。

議事といたしましては、昨年度までの事業報告及び決算について、今年度の事業計画及び予算について、本会会則の改廃、役員を選任、本学30周年の寄贈品について、そしてかねてより募集をさせていただいておりました本会の名称を“蒼天会(そうてんかい)”と決定し、皆様の前で発表させていただきました。これで同窓会も年々増えていく会員と共に発展していけることでしょう。

懇親会は今回初めて札幌中心部ではなく、本学eDCタワー2階のカフェレストランで開催いたしました。当日は本学で“宇宙展”を開催しており、学生に限らず地域の方々も大勢にぎわう中、校舎も当時から変わらない部分と新たに増築された部分を見学しつつ、93名という多くの同窓生にご参加いただき、皆様和気あいあいと旧交を温め、また情報交換の場として大いに賑わいをみせておりました。また会の中で沢山の同窓生や先生からコメントを頂戴しましたが、予想以上に壇上でお話ししたい方が大勢おまして、現在の皆様のご活躍を嬉しく思いました。

また、参加された多くの皆様から、「このような機会をぜひ作って欲しい」といったお声が多く、役員一同非常に嬉しく思っております。総会・懇親会は3年に一度ですが、昨年2月に“同窓会交流会”という懇親会を野幌にて開催し好評であったことから、今後このような交流会を数多く開催していきたいと考えておりますので、是非皆様も時々同窓会のHPを確認していただき、多くの同窓生にお声かけいただきご参加にご協力いただけたら幸いです。

同窓会が一層皆様の身近な存在であるよう、大学との連携強化を図りながら、活動を拡大していきますので、ご意見・ご要望などお寄せいただければと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

同窓会交流会初開催

「同窓会の懇親会が3年に1回は少ないよね」「毎年イベント実施しないの?」という同窓生の声にお応えしまして、平成30年2月5日(月)に同窓会交流イベント『同窓会交流会』を初開催し、月曜の夜にも関わらず、多くの卒業生・教職員にご参加いただきました。

初開催の今回は、大学で行われる就活生向けイベントを卒業生が多く集まる日に設定しました。次回は平成31年2月15日(金)に開催する予定で、学生の参加もOKにすることを検討しています。詳細が決まり次第、同窓会Webサイトなどでご案内します。

「情報大卒業生が年に1度、野幌に集う会」を定着させたいと思っていますので、皆様のご参加をお待ちしています。

22年後に母校へ

情報学科 4期生
大学院在学中

嘉賀 雄一さん



平成7年度卒業、経営情報学部情報学科4期生の嘉賀雄一と申します。現在は、地元鳥取県にてITサービス業を経営しております。私は卒業後、地元インターネットプロバイダに就職し、HP制作やPG開発・ネットワークの設計構築・運用支援などに従事していました。しかし、会社の方針に納得いかず退社。その後、札幌に舞い戻り転職しました。そこでは、大規模ネットワークの



設計・構築、Web業務アプリケーション開発などの数億円規模の案件に従事しておりました。しかし長続きはせず、地元に戻り会社をはじめました。

業務内容は、「ネットワーク

構築・ICT支援・アプリケーション開発」が主な3本柱です。ある日、業務で知り合った営業さんから「一緒に宇宙関連アプリをJAXAと開発しない?」と、お話をいただきました。しかし当時、私の周囲には宇宙に関連している知人がおらず困っておりました。そこで大学へ協力依頼を行い、渡部教授を紹介していただきました。当初は相談程度でしたが、せっかくなら勉強し直してみようと思い、今春大学院に入学させていただきました。授業は、先生方と相談しインターネットを利用した授業を展開。おかげで時間も融通していただいております。

この歳で新たに勉強することは時間との戦いで、思うようには進みません。しかし、いまだからこそ理解できる内容もたくさんありました。卒業後、全てを独学で行っていた仕事が授業を通じて、「あっそういうことかあー」などの振り返りや発見がたくさんあります。この歳で初心に戻り基礎からやり直すことは、とても有意義であり、これから先の仕事へのプラスになると思っています。

また、未知なる分野も履修する必要があるため、今まで避けてきていた分野を先生方から知識・アドバイスをいただきながら学習ができるのも大学院に入学したからこそだと思います。今後、大学院で学んだことで新たな業務を開発していきたいと思っています。

最後になりますが、卒業生の皆さんもお時間あれば古巣に戻ってきませんか。満足できる環境で学習ができるかと思っています。

感恩報謝

経営学科 10期生

吉本 信吾さん



平成13年度卒、経営情報学部、経営学科10期生の吉本信吾と申します。現在、北海道エアウォーター株式会社 経営管理部業績管理グループに所属しております。弊社は、ガス業界のリーディングカンパニーとして、産業、医療、エネルギー分野の3つの事業を基盤に農業・食品・福祉介護・環境分析等の新たな事業を展開していて、私は、各セグメントの業績を管理する業務に従事しております。また、弊社には労働組合はありませんが、それに代わる従業員会という組織があり、その代表を仰せつかっております。各従業員の意見を集約し、会社のさらなる発展・安全衛生の向上のために経営層と話し合いをする機会を設け、進言する役割についても担っており、まさに中間管理職として、日々奮闘しているところであります。



話はガラッと変わりますが、私は、小学2年生の時に江別市に転校してきてから、小学校・中学校・高校・大学とずっと現在に至るまで江別市で生活しており、非常に住みやすく、程よく田舎で、程よく街にも近

いこの江別市がとても大好きです。現在二児の父親となり、子供たちも私と同じく江別市ですくすくと成長しております。

最近では、5年生の息子が所属しております「上江別ブルードリームズ」という少年野球チームのコーチをしており、少年野球の甲子園と呼ばれている高円宮杯全日本学童軟式野球大会(マクドナルド・トーナメント)において、見事、南北海道予選大会で優勝しチーム誕生以来初の全国大会出場の出場切符を手にし、明治神宮野球場で行われた全国大会に出場することが出来ました。全国大会では、残念ながら初戦で広島県代表チームに惜敗してしまいましたが、子供たちは本当によくやってくれました。来年は、息子もレギュラー戦に出場出来るよう日々楽しそうに野球の練習をしている姿を見ることが楽しく、私生活においても非常に充実した日々を過ごしております。

現学生の皆様へ一言。学生時代の友達、先生、バイト先の同僚、親、自分に関わるすべての人たちを大切にし、感謝する気持ちをもって日々生活してほしいと思います。私も卒業してから約17年が経ち、人の親になって、色々な経験をして本当に最近そう思います。

残り短い学生時代を楽しんで、色々なことを吸収して社会へ飛び出して行って下さい。皆様のご活躍を卒業生として心より願っております。



「交流会支援制度」ご利用ください!

本会では会員の皆さんの交流を支援する「交流会支援制度」を行っています。「大学の友人とは卒業以来合っていない」「サークルのOB会をしたい」「お世話になった先生と食事がしたい」などと思っている方。この制度はそうした同窓生の背中を後押しする制度です。これからの時期、

忘年会、新年会で活用するのも良いですね!是非ご利用ください!旧友や恩師と再会し、思い出話を花を咲かせてみませんか。

● 申込方法など詳しくは同窓会Webサイトをご覧ください。



第30回 蒼天祭について

学生実行委員会 委員長
情報メディア学科3年

金子 麻衣さん



今年度は10月6日(土)、7日(日)に、本学にて蒼天祭の開催を予定しておりましたが、台風25号の影響もあり10月6日(土)のみの開催となりました。

このため、2日目に予定していた蒼天大花火やYOSAKOI演舞は残念ながら中止となってしまい、ご支援・ご協力いただいた同窓会・教職員の皆様、YOSAKOI演舞参加予定団体の皆様には、大変申し訳なく思っております。関係者の皆様方にはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。委員会としても、2日目に予定していたBINGO大会を1日目に折り返しなど工夫を凝らし、1日目を充実させるため奔走しましたが、終盤には雨が降り始め、今年度は地震や台風に左右される年となりました。そのような状況下でも900人以上のお客様にお越しいただき、大変喜ばしく思っております。



今年度の蒼天祭の目玉として、毎年行っているSO-TEN LIVEでは、伊東歌詞太郎さんにお越しいただき、ライブパフォーマンスを行っていただきました。伊東歌詞太郎さんはテレビ番組等への露出は目立ちませんが、各種動画配信サイト等で人気があり、特に中高生からの支持が多くございます。今回のSO-TEN LIVEを見るため、各地から500人以上のお客様がお見えになりました。例年、松尾記念館



講堂にて行っていたライブを体育館に変更し、スタンディングでのライブを実施しました。無事お客様も全員入場することができ、大きな目玉として蒼天祭を盛り上げていただきました。例年と場所を変えたことによる反省点や課題も多く見られましたが、お越しいただいたお客様やSNSでの反応もとても良く、委員会として満足いく結果となりました。伊東歌詞太郎さん、ご協力いただいたスタッフの皆様のお力もあり、お客様に心から楽しんでいただけるSO-TEN LIVEにすることができたのではないかと考えております。

学生による模擬店の出店やゼミ・サークルによる展示なども、例年通り設けており、SO-TEN LIVEでの動員も重なり、完売した店舗や大盛況の展示スペースが多く見られました。ポップコーンを食べながら学生による映像作品を観覧できるスペースを設けた団体や、中にはゼミ・サークルの枠をこえ、教員や学生によるスポーツ大会を開催した団体もありました。

急遽日程を変更して1日目に行ったBINGO大会にも多くのお客様にご参加いただき、委員会で用意していた景品の数々を、お客様にお渡しすることができました。

最後に、同窓会や教職員の皆様、模擬店・展示を運営くださった学生の皆様、OB・OG・在学生、そして何よりも蒼天祭にお越しくくださった来場者の皆様のお陰です。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

TOPICS

「北海道情報大学同窓会入学奨励金」のご案内

昨年度入学生から適用を開始しました「北海道情報大学同窓会入学奨励金」。この制度は、本会会員のご家族が本学に入学した場合、入学後の手続きにより入学金相当額を上限として入学奨励金を給付する制度です。

2年目の今回は6件の申請があり、全員の給付を決定。既に入学奨励金の給付を終えましたことをご報告いたします。

来年度、大学進学を検討されているご家族がいらっしゃる場合は、ぜひ母校の受験をお勧めいただき、入学された際には本奨励金の申請をお願いいたします。

●申請方法等詳しくは同窓会Webサイトをご覧ください。

<http://www.hiu-dosokai.net/admissionsubsidy>

「北海道情報大学教育研究振興募金」への協力

平成28年度から続けております「北海道情報大学教育研究振興募金」に対する寄付を今年度も行い、10月6日(土)に行いました「大学との意見交換会」の際に同窓会木村会長から澤井学長に目録をお渡ししましたので、ご報告致します。



「同窓会ホームカミングデイ2018」開催報告

「同窓会ホームカミングデイ2018」を今年も開催いたしました。たまには母校に帰ってきてほしい、蒼天祭にたくさんの人に来てほしいとの思いから始めたものですが、大きな広報はしていないものの、周知度も高くなり恒例の行事となってきた感があります。

残念ながら今年は台風の影響を鑑み、事前に二日目の開催を中止した

ため、一日のみの開催となりましたが、ご家族や友人と来場された方、道外から来場された方など本当にたくさんの方に参加していただきました。ありがとうございました。

来られなかった同窓生の皆さん、来年は帰っておいで。母校があなたの帰りを待っています!